



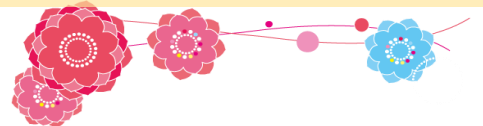
わかばだより

令和3年度
2月号
げんきな森中央保育園
ぼら組 ももチーム



ピリッとした冷たい空気の中、子どもたちは白い息を吐きつつマラソンやなわとび、鬼ごっこをして体を温めて元気に遊んでいます。

もうすぐ立春。暦の上では春を迎えます。豆まきをして邪気を払い、無病息災を願いましょう。保育園でも豆まきの行事があります。子どもたちは、楽しみにしながら節分の準備をしています。今年はどんな表情をみせてくれるのでしょうか。2月も、いろいろな行事を楽しみながら、仲間がいるからこそ感じるこのことのできる喜びや満足感をたくさん味わってほしいと思っています。



2月のねらい

- ・感染症予防に必要な習慣や態度を身につける
- ・季節の行事に興味・関心をもって参加する
- ・友だちや保育者と一緒に劇遊びや楽器遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ



今月のうた

- ♪ まめまき ♪ ゆき
- ♪ うれしいひなまつり

今月のえほん

- ・おにはそと
- ・おいしいおひなさま



～ やったぁ！
できた～

お正月遊びを楽しみました。

ふじ・さくらチームさんから聞こえてくるにぎやかな声・・・、「なにしてるの？」と興味津々に近づくと、「凧揚げしてるんで！」「凧、作ってるんで。」と返事が返ってきます。なんだろう？どうやってするんだろう？と、一人ひとりが自分の感じた不思議を解決

するかのように、側でじっと見つめていました。数日、凧揚げの様子を見つめた後、「ほくも、凧揚げしたいなぁ～。」「作りたい！」と子どもたちから声が上がりました。次々に声上がり、みんな、作ることになりました。待ちに待った凧が完成すると大喜びで、園庭やにこにこ山を走り回り、やりたいと思った

凧揚げができた喜びを全身で感じていました。そして、「せんせい、これほしい」と、ふじ・さくらチームさんから届いたお手紙を持って、ゆうびんごっこのリクエストも。「ハートをあげようっど。」「また、あそうぼうねって書いた」と自分なりの文字を書いて気持ちを届けていました。やりたいことができた満足感をたくさん味わっていました。

ゆうびんごっこを楽しみました！



げんきいっぱい！

おしらせ

・戸外遊びでの土や泥の汚れ、感染症の症状による嘔吐や下痢などで子ども

たちの身体を洗う場合があります。いつ起こるか分からないことですので、毎日の荷物の中に、フェイスタオルサイズのタオルを1枚、必ず入れて下さい。



